

私は千葉県柏市で生活安全産業の一翼を担うべく、警備会社を展開する会社経営者です。ぜひ、新卒高校生の方々に当社の門をたたいて頂きたい、先生方、学校関係者の皆様に日頃から、経営者として思うこと、感じていることを綴ります。文化・芸能・教育・社会・経済・企業の問題を一緒に考えていきたいです。当紙の題名は私の人生訓であり、モットーでもあります。

「秋は夕暮れ、闇もなほ」

早朝の冷え切った空気にほのかに甘くさわやかなキンモクセイの香りが漂いはじめ、思わず深呼吸せずにはいられない季節になりました。本格的な秋の訪れを嗅覚で確認できるようになったのは校庭に植えられたキンモクセイの木の前を歩いた小学校高学年になってからのことでした。

「残暑は新学期が始まる9月中旬まで厳しいもの」とは30年前までの日本人共通の「体感」のはずでした。それが近年の温暖化によって秋の訪れがスキップされ、一気に冬の入り口に立たされるようになって、ことさら四季の中で秋を少しでも長く味わいたいと思うようになったのは齢を重ねたご褒美かもしれません。

日本列島に暮らすならば、今から約1000年前の平安の世も令和にあっても同じ夕暮れを見ているはず。清少納言が枕草子に書きとめた「秋は夕暮れ」「冬はつとめて」という清らかな感性を高校時代の自分が理解するにいたらなかった、意欲すらなかったこと今さらに後悔するのです。

あと数週間もすれば、朝7時でも薄暗く、夕方4時半には日は沈みます。たまたま先日、ご挨拶に伺った定時制高校に行く途中、道を間違えてしまい電灯ひとつない真っ暗な夜道を歩く羽目になりました。漆黒の情景を「闇もなほ」と捉えた平安びとに遠く及びません。



当社では毎年、多くの新卒採用者を迎え入れております。ひとりでも多くの若い力を大切に育て上げたい。会社を通して彼ら、彼女らの人間形成の役に立ちたいと存じます。ぜひとも、大切な生徒様の進路検討に当社を加えてください。

新年度も、東葉警備保障株式会社をどうぞよろしくお願い申し上げます。

松本 隆一郎